



苫小牧港西港区商港地区 複合一貫輸送ターミナル改良事業

北海道の産業物流を支える苫小牧港

現在 now

将来 future

インフラ



※「RORO（ローロー）船」とは、貨物をトラック等で積みおろすために、船尾や船側にゲートを有する船舶

老朽化岸壁と荷捌地を一体的に整備。船舶の安全性向上や荷役の効率化に寄与



平成29年 完成予定

地域



〈背後企業の声〉

RORO船の物流効率化は、トラックドライバー不足など物流環境の変化に対応できるほか、輸送コストの削減にも繋がる。

物流コスト削減
(年間約20億円)



物流効率化

岸壁の老朽化対策と合わせて耐震強化を図り、大規模地震時の物流機能を確保

遊休化した上屋を撤去することにより、物流が効率化され内外の産業活動の促進が期待

車両の走行空間が確保されることにより、荷役時間が短縮され、生産性向上が期待

西ふ頭を利用している主な企業 (下段<>書きは輸送品目)

